

身体障害者診断書 (障害用)

総括表

氏名	明治・大正・昭和・平成 年 月 日	男・女
住所		
① 障害名 (部位を明記)		
② 原因となった 疾病・外傷名	交通, 労災, その他の事故, 戦傷, 戦災, 疾病, 先天性, その他()	
③ 疾病・外傷発生日	年 月 日 (頃)	場所
④ 参考となる経過・現症 (エックス線写真及び検査所見を含む。)		

障害固定又は障害確定 (推定) 年 月 日

⑤ 総合所見 (個別の所見欄用紙を用いた時は, 重複部分の記載を省略してさしつかえありません。)

[将来再認定 (約 年後) 要・不要]

⑥ その他参考となる合併症状

上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。

年 月 日

病院又は診療所の名称

所在地

診療担当科名

科

医師氏名

印

意見書

身体障害者福祉法第15条第3項の意見 [障害程度等級についても参考意見を記入]

障害の程度は, 身体障害者福祉法別表に掲げる障害に・該当する (級相当)・該当しない

注意

1. 障害名には現在起っている障害, 例えば両眼失明, 両耳ろう, 右上下肢麻痺, 心臓機能障害等を記入し, 原因となった疾病には, 角膜混濁, 先天性難聴, 脳卒中, 僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入して下さい。
2. 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については, 「歯科医師による診断書・意見書」(別様式)を添付してください。
3. 障害区分や等級決定のため, 県から改めて次ページ以降の部分についてお問い合わせする場合があります。

等級認定	項目	1種	2種	1級	2級	3級	4級	5級	6級	再審査	審議会
	認定印										
	障害名										

備考 等級認定欄内は記入しないでください。

等級認定	項目	1種	2種	1級	2級	3級	4級	5級	6級	再審査	審議会
	認定印										
	障害名										

備考 等級認定欄内は記入しないでください。

(該当するものを○で囲む)

〔はじめに〕

この診断書においては、以下の4つの障害区分のうち、認定を受けようとする障害について、□にレを入れて選択し、その障害に関する「状態及び所見」について記載すること。

なお、音声機能障害、言語機能障害及びそしゃく機能障害が重複する場合については、各々について障害認定することは可能であるが、等級はその中の最重度の等級をもって決定する旨、留意すること（各々の障害の合計指数をもって等級決定することはない）。

- 聴 覚 障 害 → 『1「聴覚障害」の状態及び所見』に記載すること
- 平 衡 機 能 障 害 → 『2「平衡機能障害」の状態及び所見』に記載すること
- 音 声 ・ 言 語 機 能 障 害 → 『3「音声・言語機能障害」の状態及び所見』に記載すること
- そ しゃ く 機 能 障 害 → 『4「そしゃく機能障害」の状態及び所見』に記載すること

1 「聴覚障害」の状態及び所見

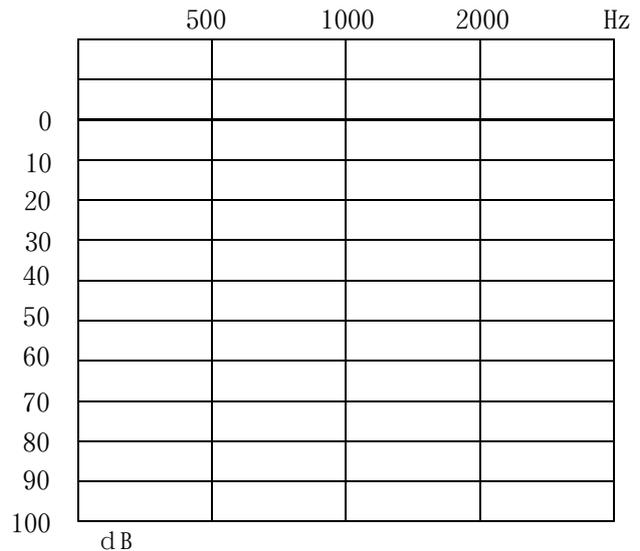
- (1) 聴力（会話音域の平均聴力レベル） (4) 聴力検査の結果（ア又はイのいずれかを記載する）

右	d B
左	d B

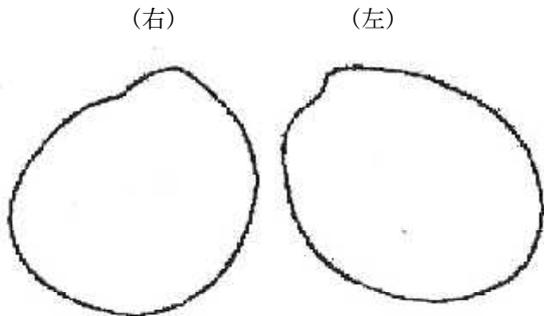
ア 純音による検査
オーディオメータの形式 _____

- (2) 障害の種類

伝 音 性 難 聴
感 音 性 難 聴
混 合 性 難 聴



- (3) 鼓膜の状態



- イ 語音による検査
語音明瞭度

右	%
左	%

- (5) 身体障害者手帳（聴覚障害）の所持状況 有 ・ 無

(注) 2級と診断する場合、記載すること。

2 「平衡機能障害」の状態及び所見

3 「音声・言語機能障害」の状態及び所見